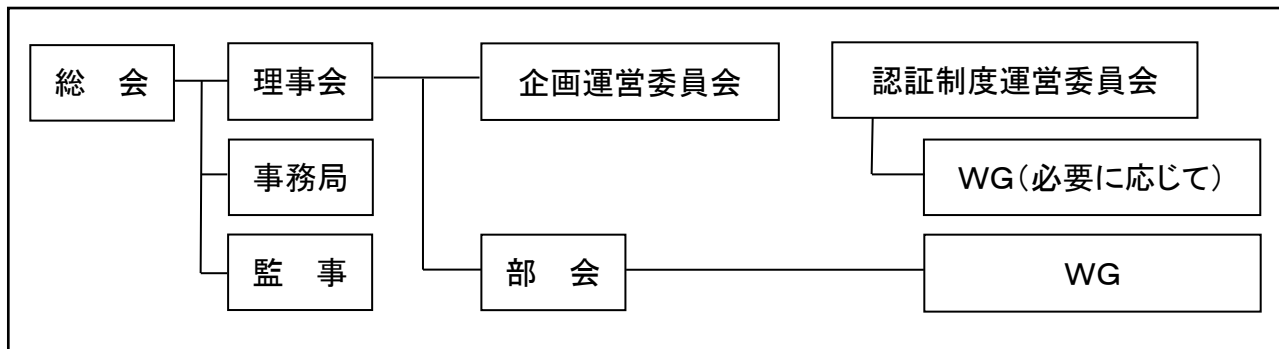


令和5年度 事業報告

1. 事業報告

(1) 組織



(2) 役員構成

理事長	吉田 篤正 (大阪府立大学 名誉教授・早稲田大学 教授)
副理事長	増田 昇 (大阪府立大学 名誉教授・LA まちづくり研究所 所長)
理事	竹林 英樹 (神戸大学大学院 准教授) 西村 伸也 (大阪市立大学 名誉教授) 松浦 信一 (大阪ガス株式会社 エネルギー事業部 計画部 環境・政策チーム マネージャー) 藤本 啓史 (関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ チーフマネージャー)
監事	水田 克史 (大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 課長) 岡本 充史 (大阪市 環境局 環境施策部 部長)

(令和6年3月31日時点、敬称略)

(3) 活動実績

(1) 理事会及び総会の開催

第1回理事会(令和5年6月6日)及び総会(書面)(令和5年6月28日)を開催し、理事及び監事の選任、令和4年度の事業報告及び収支決算、令和5年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について議論し、承認を得た。

第2回理事会(令和6年2月15日)を開催し、大阪HITECの今後の活動方針(案)及び令和6年度シンポジウムの開催について審議した。

(2) 企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会（令和5年5月18日）では、総会に付議すべき事項及び令和5年度ヒートアイランド対策技術セミナーの開催について審議した。

第2回企画運営委員会（令和6年3月18日）では、各WG（モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG、都市デザインWG、排熱低減WG、技術評価WG）の進捗状況、大阪 HITEC の今後の活動方針（案）及び令和6年度 ヒートアイランド対策技術セミナー及びシンポジウムの開催について審議した。

(3) 認証制度運営委員会の開催

日射反射材認証制度検討WGを計2回（第1回は令和5年4月27日、第2回は令和5年5月19日）開催し、新たに設ける対象技術や評価項目等について検討したうえで、第1回認証制度運営委員会（令和5年7月10日）では、新たに設ける対象技術や評価項目等、ヒートアイランド対策技術認証制度の申し込み案内及びロゴマーク使用要領の改定の3つの議案を審議した。

第2回認証制度運営委員会（令和5年11月14日）では、新たに設ける対象技術の評価項目及びヒートアイランド対策技術認証制度の申し込み案内の改定の2つの議案を審議した。

(4) 部会・WGの開催

第1回部会（令和6年3月18日）では、令和5年度の各WGの活動状況及び令和6年度の活動計画について報告した。

モデル街区WG＋空間評価WG・合同WGは計3回、都市デザインWGは計5回、排熱低減WGは計2回、技術評価WGは計5回開催した。

(5) ヒートアイランド対策技術セミナーの開催

ヒートアイランド対策技術セミナーを1回開催した。

令和5年度ヒートアイランド対策技術セミナー

開催日時：令和5年7月13日（木）13時30分から16時30分

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）及び会場

（会場：大阪公立大学文化交流センター ホール）

内 容：「大容量帯水層蓄熱システムの実用化と実システムの運用実績」

講演：中尾正喜氏（大阪公立大学 特任教授（大阪市立大学 名誉教授））

「うめきた2期地区開発における先導的技術の紹介」

講演：藤井拓郎氏（株式会社日建設計 エンジニアリング部門
設備設計グループ 設備設計部 アソシエイト）

「湧水を活用したヒートアイランド現象緩和の実証実験」

講演：森匡司氏（名古屋市 環境局 環境企画部 脱炭素社会推進課 課長）

「神戸市における水を活用した夏季対策」

講演：戸澤潮氏（神戸市 建設局 技術管理課 新技術担当課長）

「パネルディスカッション」

参加者：32名（オンライン29名、会場3名）

(6) 活動内容の周知

ニュースレター『大阪 HITEC NEWS vol.20』を令和6年3月に発行した。

(7) ホームページの充実

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの活動成果などについて、随時、情報を更新した。

(8) ヒートアイランド対策技術認証制度のリーフレットの配布

ヒートアイランド対策技術認証制度に新たに追加された対象技術「屋根用高日射反射率フィルム」を掲載し、法人会員及び個人会員の情報を更新の上、ホームページに掲載した。また、関係者へリーフレットを配布した。

(9) コンソーシアムなどの認知度・ブランド力の向上

日本ヒートアイランド学会（令和5年9月9日から9月10日）に出展し、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの最近の主な取り組みやヒートアイランド対策技術認証制度などのPRを実施した。

(10) 2025年日本国際博覧会協会（運営参加）の取り組み

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と令和5年12月14日に「2025年日本国際博覧会 協賛（運営参加）」に関する契約を締結し、2025年日本国際博覧会 会場における熱中症リスク評価と対策案提示を実施した。

具体的には、暑熱対策の設計・運用計画に基づく来場者・スタッフ等の熱中症リスク評価と現在の設計・計画では不足している箇所への熱中症対策案の検討を実施した。

協賛事業名：大阪・関西万博 運営参加事業

協賛クラス：サプライヤー

履行期間：令和5年12月14日～令和6年3月29日まで

実施担当者：竹林 英樹（モデル街区 WG 主査）

吉田 伸治（空間評価 WG 主査）

2025年日本国際博覧会 会場における熱中症リスク評価と対策案提示（運営参加）

【部会】

部会長：竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

1. 令和5年度の事業内容

各WGの令和5年度の活動状況及び令和6年度の活動計画について報告した。

2. 令和5年度の活動状況

第1回 令和6年3月18日

【モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG】

モデル街区WG主査：竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

空間評価WG主査：吉田伸治（奈良女子大学大学院 教授）

1. 令和5年度の事業内容

- ・神戸大学の校舎内においてミスト噴霧の実験を実施し、暑さ対策効果のシミュレーションを行った。
- ・万博会場にパラソル、テント、竹パーゴラ、竹シェード等の暑さ対策技術の導入を想定し、温熱環境指標 WBGT、SET*の改善効果を検討した。
- ・群衆の周辺微気候に与える影響の評価モデルを作成した。
- ・作成した評価モデルを用いて、群衆規模、群衆密度が群衆内の風環境に与える影響を分析した。

2. 令和5年度の活動状況

第1回 令和5年6月29日

第2回 令和5年10月5日

第3回 令和6年3月26日

3. 事業計画における今後の方針

- ・神戸大学の校舎内においてミスト噴霧の実験を実施し、暑さ対策効果のシミュレーションを行い、ミストの設置状況、気象条件、利用条件と温熱環境改善効果の関係を分析して、実街区への導入に向けた指針を検討する。
- ・万博会場に導入される暑さ対策技術の導入効果を温熱環境シミュレーションにより分析し、適切な運用に向けた指針を検討する。
- ・群衆の周辺微気候に与える影響分析のためのパラメトリックスタディを行う。

【都市デザインWG】

都市デザインWG主査 鍋島美奈子（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和5年度の事業内容

- ・質の高いクールスポット普及に向けて、格付け可能なクールスポット評価システムを構築することを目的とし、駅前広場やバス停に設置された暑熱対策技術（ミスト噴霧や日除け屋根、植栽等）によるクールスポットを対象に現場実測調査を行い、WBGT計を用いた環境計測方法、データ分析及び格付け評価方法の検討を行った。

- ・技術評価 WG と合同で開催し、クールスポットの物理環境計測方法や比較評価方法について情報共有を行った。
- ・評価対象地は「大阪府森林等環境整備事業（都市緑化を活用した猛暑対策事業）の実績に係る評価」から3地点を選定し、8月に現場実測調査を行った。調査地点には大阪府猛暑対策事業担当者を招き、現地で意見交換を行った。
- ・第1回及び第2回 WG では前年度からの課題整理と実測調査の計画について、第3回及び第4回 WG ではデータ分析方法や評価方法について、第5回 WG では地域の気象台等で実測されている WBGT データを基準にして別々の日時に現地計測されたクールスポットの効果を順位付けする方法について議論した。
- ・令和5年度は、啓発活動の一環としたクールスポット体験会や、市民を対象とした現地研修会は実施しなかった。

2. 令和5年度の活動状況

- 第1回 令和5年5月29日
- 第2回 令和5年6月30日
- 第3回 令和5年10月6日
- 第4回 令和5年12月25日
- 第5回 令和6年3月19日

3. 事業計画における今後の方針

- ・大阪府の都市緑化を活用した猛暑対策事業（補助事業）では、令和2～5年度に新たに135か所のクールスポットの整備が行われ、補助を受けた事業者が自ら計測した WBGT データが公表されている。それらの暑熱対策効果に関するデータを分析し、整備箇所の順位付けが可能か検討を行う。
- ・WBGT を用いたクールスポットの評価方法の課題を整理し、運用方法の指針を示す。
- ・啓発活動の一環としてクールスポット・クールロードの現地研修会を企画し、その際、暑熱環境等の計測技術の講習や HITEC 会員企業のヒートアイランド対策製品の効果体感とPRなども検討する。
- ・大阪府クールスポット100選（平成24年）及び大阪府クールロード100選（平成27年）のホームページを継続しつつ、新たな情報発信の手法について検討する。

【排熱低減WG】

排熱低減WG主査 西村伸也（大阪公立大学 客員教授（大阪市立大学 名誉教授））

1. 令和5年度の事業内容

- ・第1回 WG では、再生可能エネルギーを利用した省エネの一例として「帯水層蓄熱設備」の見学を行った。
- ・第2回 WG では、排熱低減 WG 並びに大阪 HITEC の活性化と関連事業者や一般市民へのヒートアイランド対策の普及・広報を目的に令和6年8月から9月に開催予定のシンポジウムの企画（開催日時、プログラム、講師の選定等）について検討するとともに、令和6年度の活動方針について意見交換を行った。

2. 令和5年度の活動状況

第1回 令和5年12月21日

第2回 令和6年3月7日

3. 事業計画における今後の方針

- ・人工排熱の大気熱負荷削減方法に関する情報収集・調査ならびに検討、広報
- ・未利用熱・排熱などの活用に関する情報収集・調査ならびに検討、広報
- ・地球温暖化防止対策としてのカーボンニュートラルに関する諸施策がヒートアイランドに及ぼす影響の評価。2023年度に引き続いて、企業、行政などからの話題提供を企画
- ・ヒートアイランド対策の短期、中期、および長期スケールにおけるロードマップの作成
- ・公開シンポジウム（9月4日）の企画

【技術評価WG】

技術評価WG主査 西岡真稔（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和5年度の事業内容

- ・日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法について検討した。
- ・夏季の実測を行い、ミストによる温度低下の測定方法の検討及び効果範囲を把握した。この結果に基づき、ミストの試験法の議論を行った。

2. 令和5年度の活動状況

第1回 令和5年5月29日

第2回 令和5年6月30日

第3回 令和5年10月6日

第4回 令和5年12月25日

第5回 令和6年3月19日

3. 事業計画における今後の方針

- ・日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法をまとめる。
- ・ミスト効果の試験方法案をまとめ、夏季の実測において、試験方法を試行する。
- ・日除け評価（市販のWBGT指数計による）とミスト評価の性能評価方法の文書化を行う。

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷評価手法WG主査 芝池英樹（建築都市科学ラボ）

1. 令和5年度の事業内容

- ・これまでの取組みに加え、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係するWGと連携して、当該技術に関するWUFI Proを主カシミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。

2. 令和5年度の活動状況

- ・開催実績なし

3. 事業計画における今後の方針

- ・ 認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。